

# ローラチェーン・sprocketの取扱い

## 取り付け・取り外しについて

### 危険・警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 危険

#### 1 電源を必ず切ってください

チェーン・sprocketを装置に取り付け、取り外し、給油する場合などの保守点検等を行うときはそれらの作業に入る前に必ず電源或いは他の動力源を切り不慮にスイッチが入らないようにして下さい。

#### 2 吊り下げ装置に使用の場合は特に注意して下さい

チェーンを吊り下げ装置に使用の場合には昇降物の下に絶対に人が入らない様にして下さい。

#### 3 チェーンの再加工は大変危険です

一部のチェーンの部品を除き一般のチェーンの部品は熱処理されています。それらを再加工することは絶対にしないで下さい。

- a. 熱処理されているチェーンsprocketの部品にメッキ等の表面処理は割れの原因となりますので絶対に行ってはいけません。
  - b. 熱処理されているチェーンsprocket及びそれらの部品への溶接は絶対にしないで下さい。割れる可能性もあり又熱影響で強度の低下が生じることがあります。
  - c. 熱処理されているチェーン・sprocket及びそれらの部品の焼きなましは絶対にしないで下さい。
4. 取り付け、取り外し作業の際、チェーンとsprocket間に指等を絶対に入れないで下さい。指等の切断事故となります。

### 警告

#### 1 損耗・破損したチェーンの取替えの場合、部分交換を行わず全部を新品に交換して下さい

#### 2 チェーン・sprocketの装置には危険防止具(安全カバー)を必ず取付けて下さい。予期せぬ過負荷によってチェーンが破断したとき、かなりの力によってsprocketからチェーンが投げ出されることがあります。

# ローラチェーン・スプロケットの取扱い

## 警告

- 3 駆動するチェーン・スプロケットに干渉する障害物は常にチェックして必ず取り除いて下さい
- 4 継手リンクのクリップ装着はチェーン進行方向と逆側に欠み部が来る様にして下さい  
(正転、逆転使用の場合は割ピン形の継手をお勧めします。)
- 5 一度使用された継手リンクは破棄して下さい
- 6 条数使用の場合は条数の内1本だけに集中荷重が掛からないようにバランスよく取り付けて下さい
- 7 チェーン・スプロケットを洗浄するときは酸やアルカリ或いはガソリンや高揮発性溶剤

洗浄するときは、灯油に浸して洗浄し、その後十分に給油して使用して下さい。但し、Oリングチェーンの場合、灯油でOリング(シール)が劣化する場合があります。灯油は使用しないで下さい。専用の洗浄液を使用して下さい。ワイヤーブラシはOリング(シール)を傷つけますので使用しないで下さい。

## 注意

- 1 作業に適した服装・適切な保護具(安全メガネ・安全靴等)を常に着用して下さい

実際に作業を行う人及び近接区域にいる人に始動合図を定めるなどして安全確認して下さい。作業しやすい様に周囲を整理し安全な環境にして下さい。(労働安全規則第2編第1章第1節一般基準を遵守して下さい。)

- 2 チェーンの交換時にはスプロケットも交換して下さい

磨耗したスプロケットを使用するとチェーン寿命を縮めます。

- 3 チェーン切り継ぎは、専用装置・治具を使用し必ず継手部分で行って下さい

継手なしエンドレスチェーンはお求めの販売店に依頼して下さい。

- 4 チェーンの弛み量はカタログを参照して下さい

少ないと磨耗を早め騒音の原因となり、大きいとチェーンの振れ、歯飛びの原因になります。

# ローラチェーン・スプロケットの取扱い

## 5 スプロケット間のアライメントに注意して下さい

チェーン磨耗を早め、騒音の原因になります。

## 6 給油は定期的に行ってください

給油を怠るとチェーン寿命が極端に短くなります。

## 7 組立て取付後動力を入れる前に

- a. 継ぎ部分が正確に充分結合されているか、結合部に異常がないか
- b. スプロケットの歯に正確にチェーンが噛み合っているか
- c. 周辺に干渉したり飛散したりするものが置いていないか
- d. 有害な傷・錆がないか、また損耗がないか
- e. たるみ量が適切か
- f. 給油が適正か
- g. 両軸の水平・平行が適正か
- h. スプロケットの芯ずれが適正か等確認し、異常な音がしたとき即座にスイッチを切る。そして再度、安全確認してから稼動して下さい。

## 8 危険回避の装置

緊急停止装置を取り付けて下さい。予期せぬ過負荷による受傷を避けるため、負荷制御装置やブレーキなどの緊急停止装置を取り付けて下さい。

## 9 チェーンの保管については砂、泥、埃、水等を付着させない様取扱いに注意して下さい

## 10 乱暴な取扱いはしないで下さい。チェーンに振れの発生、又は傷の原因となります